

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	4	6	16
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	12	2	1	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	5		16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	10	1		16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	11	4		16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・介護計画書の一覧表を早急に作成し、全員が意識して見るようにし、統一した関わりをしていく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	50%
・以前の利用者の介護計画書は順調に作成できているが、新規利用者の介護計画書は作成中で、追いついていない部分がある。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画書の一覧表については、利用者の担当職員とケアマネで相談し8割程はできている。 ・新規利用者の情報を家族等から頻繁に聞き、職員間で共有し関わるようにしている。 ・新規利用者が不安にならないように意識して、積極的に関わるようにしている。 	

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・新しい職員が加わり、新規利用者も増え、旧担当職員も異動になり、情報の共有等が十分にできていないため、介護計画書の作成が追いつていない。
- ・業務の合間の時間を利用して介護計画書を見る時間を作る努力が足りなかった。
- ・具体的に利用者にとどのような支援が必要なのかについて職員全員が十分に把握していない。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること

- ・新規の利用者に対して事前にアセスメントし情報を職員間が共有した上で関わっているが、業務に追われ声掛けなどができない時がある。
- ・家族などの声はすぐにケアマネや管理者に報告し配慮しているが、すぐに解決できない問題も多くある。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・新規利用者については、ケアプランができた時点で早急に介護計画書を作成する業務上の流れを作り、その情報をミーティング等で周知し職員全員が把握できるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	5	7	16
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		11	2	3	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8	4	2	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11	3	2	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	4	1	16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画書の一覧に、利用者各自の目標 (「〇〇ができるようにする」等) を記入し、その目標を職員全員がわかるようにし、共有できるようにする。 ・上記のように介護計画書一覧を作成するにあたり、介護計画書の様式を検討していく。 	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	20%
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目標や個別に本人ができる事を考えた上で利用者がしたい事を提供しているが、利用者の目標がうまく立てられない職員もいる。 ・介護計画書の様式改定についての検討ができなかった。 	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果	200字程度で、できていることと、その理由を記入することについて、できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる時には、介護計画書や情報シートを見るようにしている。 ・目標に対して毎日個別リハなど担当職員を決めて継続して支援している。 	

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
--------------------------------	-------------------------------

- ・介護計画書を作り、内容を見ている、その内容について掘り下げて再検討する時間が取れていない。
- ・必要だと思われる支援や利用者の目標を十分に把握しきれていなかった。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること
------------------------	------------------------------

- ・1年を通して担当職員が利用者に積極的に関わり、夢叶えや「～がしたい」「～に行きたい」など実践しているが、自分の担当以外は詳しく知らないことが多い。
- ・新人職員にエルダーが積極的に関わり、利用者の情報を早めに知ってもらう必要がある。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・利用者の担当職員だけに関わりを任せるのではなく、会議（全体のものだけでなく、ミーティングや打ち合わせ等含む）などで頻繁に情報を共有し全員が統一した関わりができるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

3. 日常生活の支援

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	12		3	16
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	8	4	2	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	12			16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9	5	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	10			16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	11	2		16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に利用者に積極的に関わり、利用者について知る努力をする。知った情報を他の職員と共有し、連携していく。 ・職員間で職員が抱える介護に対する「不安」を共有し、ミーティング等で改善策を検討する。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	80%
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者から聞いた事は、事業所備え付けの情報ノートに記入して職員が閲覧できる状態にしている他、ミーティングでも情報を共有している。 ・職員が自分のケア方法に不安がある時は会議やミーティングで検討している。

③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に積極的に関わるようにし、ちょっとした体調の変化に気が付けるようにバイタルの観察や外見（入浴時皮膚等）の観察をしている。 ・血圧の変動や体温が高い場合など、色ペンを使用して目立つように記載することで、利用者の体調変化を職員間で分かりやすくしている。 ・不穏な利用者に対してひとりの職員だけでなく、必ず複数の職員で連携して関わるようにしている。 ・自分のケア方法に不安がある時は、周りの職員などにすぐ聞いて確認できるようにしている。 	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員によって利用者の対応に違いがあり、統一した介護サービスの提供になっていない時がある。 ・職員が増えたことにより、職員同士で職員個々の不安に気付いてあげられていない。 	

Ⅲ. 現状の取組みについて

Ⅰ－①～④、及びその他について改善が必要な点	200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活歴などをもっとよく知り、その情報をノートに記入し共有することが必要。 ・毎日のミーティング等でその日のうちに問題を解決し、翌日まで持ち込まないようにしているが、職員が増え統一した支援になっていないことが多く見られる。 ・職員の不安の解消のため、ミーティングやスタッフ会議で不安を聞く場を設け、介助の方法であればその都度勉強会を行う。 	

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ－④、Ⅲを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者情報について報告を受けた時点で、すぐ職員間で共有し、改善策を見出していく。 ・職員が不安を抱えたまま、介護に携わることがないように、また統一した質の介護サービスが提供できるよう改善策を検討して、実践していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	3	4	16
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	12	2		16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	11	2	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		11	5		16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	7	4	3	16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員の一覧を掲示することにより、民生委員のメンバーを把握・共有する。 今までも地域の行事に参加していたが、今後も継続して外出の機会を作っていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	70% <ul style="list-style-type: none"> 民生委員の一覧表を掲示しているので顔と名前が分かりやすくなった。 地域の行事に参加し外出もするようになっている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果 について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> 民生委員の一覧表を掲示しているのでわかりやすくなり、利用者についての情報収集等で活用している。 利用者と職員が地域の行事に参加し、地域の方々からの協力も頂いている。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者の高齢化やその日の体調等の状態により、限られた利用者しか参加させられなかった。
- ・利用者が持つ人間関係などについて、積極的に知ろうとする努力をしていなかった。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること

- ・利用者本人の地域を取り巻く関係が理解できていなので知る必要がある。
- ・利用者の体調等の状態により地域の行事に参加できない人がいる。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・職員全員が利用者の暮らしている地域の民生委員、自治会長、友達などのつながりを把握していく。
- ・緊急時に活用できるエコマップの作成を検討していく。
※ エコマップとは、利用者を中心として、その周辺にある社会資源（家族、友人、近隣住民、医師、各種介護関連機関等）との相関関係を、ネットワークとして表現した地図のこと。
- ・利用者の体調の状態により外の行事に参加できない方には、外部の団体等に清流の里へ来所をお願いし、イベントをしてもらい楽しんで頂くようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	9	2	4	16
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	9	3	2	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8	6	2		16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	10	1	1	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	8	1	1	16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ボランティアの募集方法を考えていく。 研修等への参加をより強化し、全職員の介護技術の水準を上げて、サービスの質を向上させ、均一なサービス提供ができるようにする。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	75% <ul style="list-style-type: none"> ボランティアの募集をウェルカムボードや広報等に載せたりしたが、継続して来てくれる方はいなかった。 研修の参加も職員に周知しており、全員ではないが参加している。 外部の研修にも参加している。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ウェルカムボードを利用し、ボランティアの募集で問い合わせをいただくという効果があったと思われるので、この方法でのボランティア募集は継続していく。 研修には積極的に参加し、実践している。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・研修参加については、周知しているが全員の参加には至っていない。
- ・研修で学んだ情報や技術を研修に参加していない職員に周知する機会を設けられず、伝えられないままになっている。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること

- ・地域の資源について情報収集不足があり、利用者と地域のつながりが切れないように資源をもっと知る必要がある。
- ・職員のスキルの差があるため、研修などへの積極的な参加を促し、スキルアップを図る。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・研修委員が中心となり、多くの職員が研修に参加し、知識、技術の向上に努め、研修参加で学んだ事を参加していない職員に教えてあげられるような場を作る。
- ・オレンジカフェを定期的に始めたことで、地域との関わりは多くなっているが内容については今後も考えて工夫を重ねていく。

※オレンジカフェとは、認知症について正しい知識を学び地域の力で認知症の方々とその家族を支え合う事を目的とした集まり。参加者の対象者は、当事者や興味のある方等どなたでも参加できます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

6. 連携・協働

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	3	6	16
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	5	5	3	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	4	3	5	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	7	5	2	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	10	3	1	16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや地域住民の方々との交流の場が少なくなったので、利用者・事業所と地域の方々や子どもたちとの交流ができる場を探していく(あるいは作っていく)。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	80% <ul style="list-style-type: none"> 子どもや地域住民の方々との交流の場が少なくなっているため、こども園や民謡会などをお願いし、来て頂くことができた。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園の慰問もあり、交流の場は確保できている。 オレンジカフェや自治会福祉部の定期的な茶話会もあり、利用者と地域との関わりが増えている。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域に対するオレンジカフェ開催の周知方法について更に工夫し、多くの方が参加しやすいようにしていく必要がある。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること

- ・職員をGOGO介護（ほんべつ福祉セミナー）などの担当にすることで多くの関係機関との繋がりを持つ機会が増え、良い機会となるので、今後も続けていく。
- ・地域や他職種の繋がりが切れないように、オレンジカフェを継続的に開催していく。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・オレンジカフェの開催を効果的に地域に周知する方法を考えていく。
- ・外部諸会議に参加する職員が限られている（担当者会議等）ので、そこで得た情報を共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和1年10月5日(土曜日)
-----	----------------

7. 運営

メンバー	大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口
------	--

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	4	4	3	16
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	8	5	2	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	4		16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	7		16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	8	6	1	16

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や夏祭りなど、これからも地域と協力して取り組んでいく。 ・事業所だより等を活用し、事業所が「困りごと相談の拠点」であることを地域に発信していく。
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	60% <ul style="list-style-type: none"> ・行事の準備・実施を地域の皆さんと協力し取り組むことができた。 ・お便りなどに載せてはいるが、事業所が「困りごとの拠点」であることを十分に地域に浸透できていない。
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ、夏祭りなど地域の方の協力のもと実施できている。 ・オレンジカフェでは、参加者に対する個別相談の時間の場を設けている。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本会の「あんしんサポートセンター」の事業と連携する意識が十分ではないので、今後も「あんしんサポートセンター」とのより密接な連携が必要と思われる。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること

- ・「困りごと相談の拠点」である事を、利用者、家族、地域の方が知らないのではないか。
- ・地域包括支援センターから来たケースについて、ケアマネが包括から小規模に変更になることを説明しても、利用者にうまく伝わらず、理解されずに、従来通り地域包括支援センターに相談してしまう事がある。
- ・事業所だより・オレンジカフェだより・ブログ等で地域、外部に「清流の里」を知ってもらう機会を増やすことが必要。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・契約やモニタリングの時などに、利用者やご家族等に担当ケアマネについて知ってもらい、相談しやすい環境作りに努める。
- ・本事業所が地域の困り事や相談の窓口であることをおたより等に載せて、地域の方に知ってもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	3	4	7	16
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	6	6	3	1	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	4	8	3	1	16
③	地域連絡会に参加していますか?	2	5	5	4	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	1	8	5	2	16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加した者は、スタッフ会議の時など、全スタッフに向けて研修内容を報告する。 ・かたよりなく、多くの職員が研修に参加できるようにする。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	35% <ul style="list-style-type: none"> ・研修の報告をする機会がなかった。 ・研修に参加はしているが、参加できる人、参加できない人の差があった。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果 について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップの為に目標を立て、計画のもと、研修に参加している。 ・研修にはできる限り参加するようにしている。 ・運営推進会議には、管理者だけでなく、多くの職員が順番に参加するようにしている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果 について、できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること <ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加できなかった人のために研修資料は閲覧できるようにしていたが、研修内容の報告はできなかった。 ・職員が自分のスキルアップの目標をなかなかうまく立てることができない。

Ⅲ. 現状の取組みについて

Ⅰ－①～④、及びその他について改善が必要な点	200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・研修や会議に参加する人が固定されている。・ヒヤリハットの報告が共有できていない。	

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ－④、Ⅲを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none">・研修参加者は、スタッフ会議などで学んだ内容について報告する。・ヒヤリハットの事例があった場合は、早急に報告書を作り、改善策を考えいく。毎日のミーティングで報告し、報告された内容について回覧を作成し、全員が見るようにする。・スキルアップ研修へ参加の重要性、必要性を理解するために、各自の課題について振り返り、整理した上で、研修計画を作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月5日(土曜日)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大井、吉村、木村、加藤、渡辺、田野、橋本、氏家、横田、大竹口、黒田、坂本、佐々木、駒井、榊、川口

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	7	1	3	16
①	身体拘束をしていない	16				16
②	虐待は行われていない	16				16
③	プライバシーが守られている	8	5	3		16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11	1	4		16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	5	3		16

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者についての話を他の利用者の前ではしないよう心掛け、言葉遣いにも気を付けていく。 ・個人情報の取り扱いについて再認識し、利用者の記録を付ける場所や個人情報を取り扱う場所等について、改めて見直し、改善していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	75% <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の前での他の利用者についての話題は、従来通り気を付ける必要がある。 ・個人情報の扱いは、職員それぞれが気を付けていた。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果	200字程度で、できていることと、その理由を記入することについて、できている点 <ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイルや日報など事務所に置き利用者が目に入る所に置かないようにしていた。 ・身体拘束や虐待を防止するために虐待などの研修も参加し、職員間で徹底して気を付けている。 ・必要な利用者には成年後見制度を活用している。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果
について、できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職員が増えたことにより休憩時間の会話の声が大きくなっているため、会話の音量については配慮不足な点がある。
- ・利用者の前で、その利用者や他の利用者に関わる事を話す事があった。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必
要な点

200字以内で、改善が必要な点と、その理由を記入すること

- ・職員の休憩時間帯に利用者に関わる職員を決めたが、対応しきれていない。
- ・言葉使いや声の大きさに注意が必要。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画（200字以内）※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・休憩時間に利用者に関わる職員数について、現状より増員を考える。
- ・個人情報の取り扱いを引き続き注意していく。特に職員間の会話を通じて利用者の耳に入ることが無いように配慮する。

A. 事業所自己評価の確認

【事業所自己評価に取り組む姿勢に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・「ほとんどできていない」という回答の多さが目立つ。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【前回の改善計画】

- ・全体的に、改善計画に対する成果や課題等をわかりやすく整理し、提示できるようにする。
- ・事業所自己評価の様式について、「事業所としての回答」と「個人としての回答」が同じ用紙に記載している点について整理し、関連性と一貫性のある事業所自己評価表として作成する。

~~~~~

- ・評価から改善に向けた流れがわかりにくい。
- ・様式が変更されているが、「事業所としての回答」と「個人としての回答」がまだ混同されているように感じる。

-----  
**【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】**

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・目標設定において、数値化できるものは数値化した方がわかりやすく、達成度も測りやすいのではないか。

-----  
**【「自己評価」をテーマにした自由意見】**

- ・目標をもっと具体的（たとえば数値化・見える化）にしなければ、評価から改善につながりにくいのではないか。
- ・各項目について、次期はどのように改善していくかを具体的に示し、評価から改善の流れをわかりやすくした方がよい。

**【改善計画】※後日記入**

- ・事業所自己評価について、「評価を受けてどのように改善したのか」を読み取りやすく作り変える。
- ・より具体化（数値化・見える化）できる部分を整理し、達成度が測りやすく、伝わりやすくなるようにする。

B. 事業所のしつらえ・環境

| No. | 項目                                                                | はい | いいえ | わからない |
|-----|-------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|
| 0   | 前回の改善計画について取組んでいましたか？                                             | 7  | 1   | 1     |
| 1   | 家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？<br>(気軽に入り易い構え、案内、雰囲気などになっているか)     | 7  | 1   | 1     |
| 2   | 事業所は、居心地がいい空間になっていますか？<br>(あなたから見て、「利用者の居心地がいい空間」となっていると感じるか)     | 7  | 0   | 2     |
| 3   | 事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？<br>(事業所から出る不快な音や臭いがないか) (なければ「はい」をチェック)   | 9  | 0   | 0     |
| 4   | 日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？<br>(事業所の正面玄関に鍵がかかっているか) (いなければ「はい」をチェック) | 9  | 0   | 0     |

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・清流の里へ入って大丈夫かどうか、利用者のプライバシーに配慮した上で、中の状況が外からでもわかるように工夫する。
- ・来客時には清流の里に入っても大丈夫かどうかを入口（あいの里職員）で対応するよう、職員に促す。

~~~~~

- ・あいの里交流センターと清流の里の職員で、受付方法を明確にした方がいい。
- ・来客があった際は、積極的に用件を聞くなどしてほしい。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・高齢者就労センターが事業廃止によって外部機関となったが、事務所は従来通りあいの里交流センターを使用しているため、来客の目的は多岐にわたるので、来客時には積極的に用件を聞くなど対応していかなければ、来客の方々は誰に何を問い合わせればいいかわからない状態がまだ改善されていない。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・前回の評価を受け、入口を入ってすぐの場所に「清流の里」「あいの里交流センター」の場所がわかる案内板を取り付けたが、それだけではなく、来客時には職員（特にあいの里交流センター職員）から積極的に用件をうかがう等の働きかけを行なうようにする。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	1	2
1	職員はあいさつできていますか？ (利用者やその家族、来客等に対し、きちんとあいさつができていると思うか)	9	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？ (地域＝本別市街地区の町民におおむね知られていると考えられるか)	5	0	4
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？ (地域住民が日常の困りごと等を気軽に相談できる事業所になっているか)	3	1	5
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？ (事業所が自治会の一員として、清流町自治会の行事等に参加しているか)	6	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・介護関連はもちろん、困りごと全般についての相談窓口機能を持った事業所であることを地域にPRする。
- ・アクセスしやすい市街地にあるという土地の利を活かして、市街地の相談窓口拠点としてのPRを行なう。
- ・前回に引き続き、随時、事業所だよりで相談受付を広報するときに、管理者の顔写真を掲載する等、誰に相談すればよいかを明確にしておく。

~~~~~

- ・清流の里に介護以外の困りごと相談機能があることがまだ地域に理解されていない。
- ・清流の里に来て、どこで誰に相談したらよいかわからないと思う。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・「本日は困りごと相談の日」のようにPRしてはどうか。
- ・困りごと相談を受けるための場（環境）作りが必要ではないか。
- ・地域の集まり（花壇整備、自治会総会、パークゴルフ大会等）に事業所が参加することで、地域と事業所で「人と人」として顔が繋がれば、相談に来所しやすくなるかもしれない。
- ・どんな困りごと相談を受けているかを具体的にPRしてはどうか。
- ・社協の「あんしんサポートセンター」とどのようにつながっているのかをPRしてはどうか。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の方々と「顔つなぎ」ができるように、事業所の職員も従来以上に集まりに参加して、地域の方々が気軽に困りごとを相談しやすい関係性を作っていく。
- ・介護相談以外の困りごと相談を受ける拠点として機能を従来以上にPRし、相談対応の具体的な流れ（誰に相談すればよいか等）を明確に示すことができるようにする。



E. 運営推進会議を活かした取組み

| No. | 項目                                                                                                        | はい | いいえ | わからない |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|
| 0   | 前回の改善計画について取組んでいましたか？                                                                                     | 7  | 0   | 2     |
| 1   | 運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？<br>(事業所の状況や取組、イベント等が説明・報告されているか)                                        | 8  | 0   | 1     |
| 2   | 運営推進会議では、地域の心配のな方等の事例検討が行われていますか？<br>(清流町自治会又は市街地区から寄せられた事例の内、推進会議で解決できる事例について検討されているか、又は関連機関へ相談が繋がれているか) | 7  | 0   | 2     |
| 3   | 運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？<br>(推進会議と清流町自治会又は周辺自治会が連携し、イベントや行事等の取組を共に行える体制となっているか。)                  | 8  | 0   | 1     |
| 4   | 運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？                                                                                | 7  | 0   | 2     |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェをはじめとして、新しい行事等について運営推進会議で説明し、委員の方々に参加していただけるように努める。</li> <li>・地域の課題（困りごと）や利用者の状況について、個人情報取り扱いに十分に配慮した上で、運営推進会議で共有できるようにする。</li> </ul> <p>~~~~~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで見ることができない場合もあるので、外部評価の結果を周知してほしい。</li> </ul> |
| <p>【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の改善計画から改善された点をわかりやすく箇条書きで示してはどうか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                   |
| <p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、運営推進会議委員の皆様には、事業所の行事等に参加していただく（行事の内容についてわかりやすく説明する）ように努める。</li> <li>・引き続き、地域の課題（困りごと）や利用者の状況について、個人情報取り扱いに十分に配慮した上で、運営推進会議で共有できるようにする。</li> <li>・外部評価の結果をわかりやすく示す方法について、従来の公表方法も含めて検討する。</li> </ul>                                           |

F. 事業所の防災・災害対策

| No. | 項目                                                                  | はい | いいえ | わからない |
|-----|---------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|
| 0   | 前回の改善計画について取組んでいましたか？                                               | 7  | 0   | 2     |
| 1   | 事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？<br>（事業所の非常災害対策計画が整備され、内容を知っているか）      | 3  | 1   | 5     |
| 2   | 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？<br>（事業所が清流町自治会の（又は清流町自治会を含む）防災訓練に参加しているか） | 6  | 0   | 3     |
| 3   | 事業所の防災訓練に参加したことがありますか？<br>（あなたが事業所の防災訓練に参加した（又は参加の案内を受けた）ことがあるか）    | 3  | 6   | 0     |
| 4   | 災害時、事業所は頼りになりそうですか？<br>（災害時に最低限の責務（利用者・訪問者の安全の確保）を全うできそうか）          | 6  | 0   | 3     |

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・災害等、有事のための備蓄については検討していく。
- ・清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項について検討していく。

~~~~~

- ・避難訓練をするごとに、気づいた点は改善されている（例：灯りが少ない→灯り増やした、車いすの扱い方について説明してくれた等）。
- ・引き続き、地域と連携しながら防災・避難訓練をしてほしい。
- ・備蓄については水と食料の他にガスボンベ式ストーブを備蓄している。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・避難訓練するたびに、訓練内容等を検討する項目について、協力いただく自治会と協議してはどうか。

【改善計画】※後日記入

- ・引き続き、災害等、有事のための備蓄については継続していく。
- ・引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項については随時、協議・整理していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・同建物内に地域交流施設があり、利用者は知人との繋がりが持てる。 ・地域自治会に参加しており、年2回地域交流事業を実施したり、災害時の避難訓練を合同で実施。 ・利用者一人一人の夢をかなえるため、職員は利用者に寄りそった介護ができています。 ・障がい者（児）の基準該当短期入所サービス受け入れの実施。
事業所名	本別北小規模多機能型居 宅介護事業所 「清流の里」	管理者	管理者 大井 正栄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	人	1人	1人	人	3人	5人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、改善計画に対する成果や課題等をわかりやすく整理し、提示できるようにする。 ・事業所自己評価の様式について、「事業所としての回答」と「個人としての回答」が同じ用紙に記載している点について整理し、関連性と一貫性のある事業所自己評価表として作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業所自己評価」の様式について、前回の改善計画を受けた取組みと他の取組みについての評価の流れを整理した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価から改善に向けた流れがわかりにくい。 ・様式が変更されているが、「事業所としての回答」と「個人としての回答」がまだ混同されているように感じる。 ・目標設定において、数値化できるものは数値化した方がわかりやすく、達成度も測りやすいのではないか。 ・目標をもっと具体的（たとえば数値化・見える化）にしなければ、評価から改善につながりにくいのではないか。 ・各項目について、次期はどのように改善していくかを具体的に示し、評価から改善の流れをわかりやすくした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価について、「評価を受けてどのように改善したのか」を読み取りやすく作り変える。 ・より具体化（数値化・見える化）できる部分を整理し、達成度が測りやすく、伝わりやすくなるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・清流の里へ入って大丈夫かどうか、利用者のプライバシーに配慮した上で、中の状況が外からでもわかるように工夫する。 ・来客時には清流の里に入っても大丈夫かどうかを入口（あいの里職員）で対応するよう、職員に促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正面玄関から入ってすぐの場所に施設案内板を設置した。 ・来客時における職員の対応については、正面玄関から入ってすぐの窓口に1人しかいないため、不在時や他の業務中には十分な来客対応ができないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者就労センターが事業廃止によって外部機関となったが、事務所は従来通りあいの里交流センターを使用しているため、来客の目的は多岐にわたるので、来客時には積極的に用件を聞くなど対応していかなければ、来客の方々には誰に何を問い合わせればいいかわからない状態がまだ改善されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価を受け、入口を入ってすぐの場所に「清流の里」「あいの里交流センター」の場所がわかる案内板を取り付けたが、それだけではなく、来客時には職員（特にあいの里交流センター職員）から積極的に用件をうかがう等の働きかけを行なうようにする。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護関連はもちろん、困りごと全般についての相談窓口機能を持った事業所であることを地域に PR する。 ・アクセスしやすい市街地にあるという土地の利を活かして、市街地の相談窓口拠点としての PR を行なう。 ・前回に引き続き、随時、事業所だよりで相談受付を広報するときに、管理者の顔写真を掲載する等、誰に相談すればよいかを明確にしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に事業所だより、オレンジカフェ等、広報や行事を通じて、事業所が困りごと全般の相談の窓口であることを PR しているが、十分に認知されていない現状にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清流の里に介護以外の困りごと相談機能があることがまだ地域に理解されていない。 ・清流の里に来ても、どこで誰に相談したらよいかわからないと思う。 ・「本日は困りごと相談の日」のように PR してはどうか。 ・困りごと相談を受けるための場（環境）作りが必要ではないか。 ・地域の集まり（花壇整備、自治会総会、パークゴルフ大会等）に事業所が参加することで、地域と事業所で「人と人」として顔が繋がれば、相談に来所しやすくなるかもしれない。 ・どんな困りごと相談を受けているかを具体的に PR してはどうか。 ・社協の「あんしんサポートセンター」とどのようにつながっているのかを PR してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と「顔つなぎ」ができるように、事業所の職員も従来以上に集まりに参加して、地域の方々が気軽に困りごとを相談しやすい関係性を作っていく。 ・介護相談以外の困りごと相談を受ける拠点として機能を従来以上に PR し、相談対応の具体的な流れ（誰に相談すればよいか等）を明確に示すことができるようにする。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域住民に対して困りごと相談の窓口機能を持つ事業所として認知してもらえよう、さまざまな広報を用いて積極的な PR を行なう。 ・引き続き、地域で開催されるさまざまな行事等に、利用者と職員が参加し、事業所が認知されるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催される行事等に事業所の職員として積極的に参加し、地域住民の方々に「清流の里の職員」として顔と名前を覚えてもらうよう努めている。 ・上記C同様、継続的に事業所だより、オレンジカフェ等、広報や行事を通じて、事業所の PR をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の職員が地域行事に参加しているのを見かける。 ・引き続き、事業所の職員は地域に出て顔を覚えてもらうように努める。 ・介護以外で、地域住民の困りごと相談に対応してくれている（支援サービスにつながっている）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域住民に対して困りごと全般の相談窓口機能を持つ事業所として認知・理解してもらえよう、さまざまな手段を用いて積極的な PR を行なう。 ・引き続き、地域で開催されるさまざまな行事等に、利用者と職員が参加し、事業所だけではなく「人」や「顔」がつながり、事業所が相談しやすい場になるよう努める。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェをはじめとして、新しい行事等について運営推進会議で説明し、委員の方々に参加していただけるように努める。 ・地域の課題（困りごと）や利用者の状況について、個人情報の取り扱いに十分に配慮した上で、運営推進会議で共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・件数は少ないものの、地域の課題（困りごと）について、運営推進会議で共有している。 ・利用者の状況についても、個人情報の取り扱いに十分に配慮した上で、運営推進会議で共有している。 ・認知症カフェ、季節の行事等、運営推進委員の方々にも参加していただき、事業所への深い理解につな 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで見ることができない場合もあるので、外部評価の結果を周知してほしい。 ・前回の改善計画から改善された点をわかりやすく箇条書きで示してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、運営推進会議委員の皆様には、事業所の行事等に参加していただく（行事の内容についてわかりやすく説明する）ように努める。 ・引き続き、地域の課題（困りごと）や利用者の状況について、個人情報の取り扱いに十分に配慮した上で、運営推進会議で共有できるようにする。

		げている。		・外部評価の結果をわかりやすく示す方法について、従来の公表方法も含めて検討する。
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等、有事のための備蓄については検討していく。 ・清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項について検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有事のため備蓄している（カセットガス式のストーブ、水、食料）。 ・事業所近隣自治会（清流町自治会）の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項については随時、協議・整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練をするごとに、気づいた点は改善されている（例：灯りが少ない→灯り増やした、車いすの扱い方について説明してくれた等）。 ・引き続き、地域と連携しながら防災・避難訓練をしてほしい。 ・備蓄については水と食料の他にガスボンベ式ストーブを備蓄している。 ・避難訓練するたびに、訓練内容等を検討する項目について、協力いただく自治会と協議してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、災害等、有事のための備蓄については継続していく。 ・引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項については随時、協議・整理していく。